

龍神祝詞

高天原たかあまはらに坐まし坐まして天てんと地ちに御働みはたらきを現あらわし
給たまう龍王りゅうおうは大宇宙根元だいうちゅうこんげんの御祖みおやの神みつかいにして一切いっさい
を産うみ一切いっさいを育そだて萬物よろづのものを御支配ごしはいあらせ給たまう
王神おうじんなれば一二三四五六七八九十ひふみよいむなやこととくせの
御寶みたからを己おのがすがたと變へんじ給たまいて自在自由じざいじゆうに
天界地界人界てんかいちかいじんかいを治おさめ給たまう龍王神りゅうおうじんなるを尊とうとみ
敬うやまいて真まことの六根一筋むねひとすじに御仕みつかえ申もうすことの由よしを
受引うけひき給たまいて愚おろかなる心こころの数々かずかずを戒いましめ給たまいて
一切衆生いっさいしゅじょうの罪穢つみけがれの衣ころもを脱ぬぎ去さらしめ給たまいて
萬物よろづのものの病災やまいをも立所たちどころに袂はらい清きよめ給たまい萬世界よろづせかい
も御祖みおやのもとに治おさめせしめ給たまへと祈願こひねがいたてまつ奉たる
ことの由よしをきこしめして六根むねの内うちに念ねんじ申もおす
大願だいがんを成就じょうじゅうなさしめ給たまへと恐かしこみ恐かしこみ白もおす